

箱根組ニュース

第336号 2021年4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

雨の百蔵山に3人。3か月ぶりに箱根組レギュラーコース再開、桜も堪能する！

コロナウイルスに悩まされて1年以上、12月の巾着田以来3ヶ月ぶりの実施となった。

3月21日(日)、かなりの雨予報の中、撤退も覚悟の出発となった。

午前7時26分の京王線新宿駅発、準特急高尾山口行きに乗車。高尾でJR中央線甲府行きに乗り換え。

猿橋駅に8時52分着。降り立ったのは、三田村、佐藤、戸丸の3名。一日雨の予報なので改札前の通路で雨具上下を着こんで完全装備。

9時15分、出発。北口駅前のロータリー前の桜は3分咲きほどだろうか、花見も出来るとはラッキーだ。雨は小雨程度でそれ程気にはならない。突き当りの甲州街道を右に曲がる。日本三奇橋猿橋まで1,3キロと写真付きの観光看板がある。

9時30分、宮下橋南詰を左に曲がり桂川を渡る。川はかなり下にあり高度感がある。橋の北側で中央高速の高い橋をくぐる。これから向かう百蔵山と右側の扇山の麓には雲が棚引いていて、まるで

天気が回復するような気配だが。

少し進むと里山の景色に癒される。美しい枝垂れ桜が満開だ。突き当りを右に曲がり、左に曲がってゆくと里山間の車道の坂道を登ってゆく。鶯が鳴いている。

9時50分、左側に神社が現れる。元は西暦808年に百蔵山山頂に開かれた百蔵山春日大明神だそうで、1306年に山火事で炎上して、1353年にこちらに移されたようだ。桜と赤い鳥居のコントラストが美しい。急な石段を上ると本殿がある。賽銭箱のある社の裏の本殿は初めて見たが1809年に建てられ、1831年に施されたという彫刻は見事なものだった。

10時15分、グラウンドを過ぎると百蔵山登山口バス停着。グラウンドの桜は3分咲きくらいだ。標識に従って左、百蔵山方面に進む。すぐにまた右に標識通りに曲がってゆく。車道の傾斜がきつくなっているようだ。

10時28分、またまた分岐が現れる。右は百蔵山・扇山方面。左は百蔵山とあ





る。左のルートを上ってゆく。

10時45分、右にトイレありの看板以前はなかったが便利屋をやっている方が私設のトイレを使わせてくれる。敷

現在の収支

繰越 31463 円

支出

HP 作成費 500 円

当日プリント代 100 円

現在高 30863 円

地を奥に入つてゆくと手作りの料金箱があつて担当の方の利用法を教えてくれる。一人100円です。きれいなトイレが利用で

きた。

10時55分、出発。道端の広い芝生には庭木をトロのオブジェに見立てたものやベンチが設置してある。やはりこの便利屋さんの作のようだ。

11時2分、私設の美術館がある。一般公開はやっていないようだが、以前より敷地内の建物が増えているようだ。

11時5分、ようやく山道に入つてゆく。林に入るとネコノメソウの花が迎えてくれた。緑の葉っぱに真ん中付近が黄色い花で、裂けた果実の様子猫の目のようにも見えることから名前がついたようだ。

11時10分、水場。一年の台風の影響だろうか周囲はかなり荒れている。水場を左に曲がり今度は右に折れると、そこからはしばらく林の中の傾斜を上っていく。まだ続くのかと思つていると左に大きく曲がつてゆく。11時45分、松の木の数

4月18日(日)、宝登山(497.1E)と長瀨アルプス

ラクダコース 歩行約2時間半

※電車バス内など、混雑時はマスクを使用しましょう。

長瀨駅から歩いてロープウェイで山頂まで、山頂から北に延びる長瀨アルプスを歩いて野上駅に向かいます。

○持ち物 お弁当、カップ、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 4月16日(金)までに

集合 4月18日(日) 東武東上線池袋駅
7:00発 快速急行小川町行き
(前から3両目車内)

途中駅発

和光市 7:12 志木 7:17 川越 7:27

川越市 7:29 坂戸 7:37 東松山 7:45

小川町 8:04着(乗り換え)

8:14発 普通寄居行き

寄居着 8:30(秩父線乗り換え)

8:47発 長瀨 9:03着

交通費 池袋～長瀨 1382円(片道)

ロープウェイ 490円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

本立つ展望地に着く。眼下の大月方面がよく見える。思ったより展望がきいて気持ちよかった。残念ながら富士は雲の中だが、高川山は見えた。

10時50分、先頭を佐藤さんにお任せして再出発。少し雨が強くなってきたようだ。

12時10分、尾根に到着。

12時30分、1003.4mの百蔵山山頂着。他には誰もいない3人だけの山頂だ。雨と風も少し強くなってきたので南風を避けて北側の林の中でレジャーシートを屋根がわりにして昼食。持参のビールで乾杯し、おにぎりを食べる。雨の中の昼食はサバイバルでスリリングな冒険だ。



1時15分、下山開始。数分で突き当りを右へ、左へ行けばいったん下って扇山へ繋がる道だ。少し進むと急な



下りとなる。雑木林の鎖も付いている急な下りだが、この時一番雨と風が強くなってきた。昔、槍ヶ岳直前で三上さんと二人で岩に隠れて風雨を逃れていたのを思い出した。そこまでは強くなかったが短時間だがかなりの風雨だった。

2時5分、水道施設のある集落の外れに降りる。

2時15分、公衆トイレで一休み。周囲の公園の桜がきれいだ。
2時21分、朝の分岐点に合流。
2時32分、春日神社に戻ってくる。



快適に舗装路を降りてゆく。高速道路をくぐり、桂川を渡り右に曲がって2時54分、駅前のセブンイレブンに到着。各自好みのドリンクとおつまみを買って猿橋駅へ。

3時5分頃、猿橋駅の階段を上がったコーナーで身支度を整えながら乾杯。これはこれでおいしい打ち上げだ。やはり山はすばらしい。日頃のストレスを解消できた一日でした。

